

様式3 まとめ(自己評価および学校関係者評価)

坂戸市学校評価システム

## 令和5年度 学校評価 自己評価及び学校関係者評価

学校名	坂戸市立坂戸中学校
実施日	令和6年2月6日

○「自己評価」及び「学校関係者評価委員評価」の欄には、A～Dを記入してください。

評価 A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない

○「自己評価についての評価の説明及び学校の考え」の欄には、理由及び自己評価の結果をどのように受け止めているかを記入ください。

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
組織・運営	1	学校は、特色ある学校づくりを目指し、組織的・計画的に取り組んでいる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある学校づくり → 目標に向かってアプローチをしていくために、企画や職員会議を有効に活用していく。各分掌で理解しながら取り組んでいく。</li> <li>・校務分掌がしっかりと機能している → 校務分掌と委員会のリンクが難しい。引き継ぎをしっかりと行う。全体的には機能している。</li> <li>・行事等の組織的取り組み → 計画の段階から時間を決める。反省を活かして来年度計画していく。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のビジョンが明示され、折に触れて伝えられており、先生方(組織的)も同じ方向にベクトルが向いている。</li> <li>・HPや学校だより、行事を通じて、保護者や地域の方に情報提供を引続き宜しく願います。</li> <li>・学校経営の指針をきちんと公表している。また坂中スピリットというキャッチーなワードでこまめにまとめて伝えている。</li> </ul>
	2	学校は、災害、事故やトラブルに対して、組織的に迅速に対応している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全点検の不備箇所の一覧を全職員に周知する。(安全部か教頭)</li> <li>・下校時の行方不明者を探すマニュアルは4月当初に配布の危機管理マニュアルに追加するかを検討する。(生徒指導部とも要相談)</li> <li>・避難訓練のパターンを増やすためには、回数を増やす必要があると思います。増やせるようであれば「地震・火災・不審者・Jアラート・地区別一斉下校など」を行いたい。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理体制などはある程度構築されている。想定外の事態も生じるのでマニュアル外で柔軟に対応できるようにしておくことも肝要。</li> <li>・パターンごとに訓練しておくの良いと思います。</li> </ul>

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	3	学校は、働き方改革を意識して、職員の勤務体制の改善を図っている。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノー残業デーが活用されているか → 平日は8時までには帰る。スイスイ水曜日は早めに退勤をする。計画的に仕事を進める。</li> <li>・正確な勤務時間の把握と活用がなされているか → 勤務時間の把握について 打刻ちゃんをおこない、勤務時間管理 中間、月末を参考にする。</li> <li>・本校は計画的な休暇が取得できているか → 休暇については計画的に取得する。</li> <li>・会議や行事の精選や業務の見直し → 職員会議、企画会、各部会を活用して行っていく。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務体制の改善と一人ひとりの意識改善を望む。</li> <li>・職場の風土なども含め、学校全体、教職員個人の意識の両面から改善に努めている。</li> <li>・ノー残業デーは十分ではないかもしれませんが、スイスイ水曜日など意識づけるところから進めていただければと思います。</li> <li>・推進している姿勢は感じるが、現実的に先生方の業務量が多岐に渡り、また多いため根本的な変革が必要だと感じる(現場の先生方、学校単位ではできることに限界がある)。行政がお金をかけての改革が必要。ICTなどデジタル活用、システム自体を変えるべき。</li> </ul>
	4	教員は、学力向上に向け、主体的・対話的で深い学びのある授業をしている。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベテラン教員の授業も見学できるように」は、研修部会で設定しているので、進行中。</li> <li>・学びづくりを活性化させるため、学校全体として、「人間関係プログラム」の実施が出来るとうい。「何を発言しても、認められる」関係の構築が必要。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種の公的試験を受験させるだけでなく、結果をふまえて授業改善につなげてほしい。</li> <li>・デジタル・アナログ両面で授業の工夫をしている。生徒に学ぶことに対する納得感を与えるよう意を用いている。</li> <li>・対面の授業でICTを工夫して適所に入れた授業が行われていた。グループでの活動もありました。生徒同士で話し合っ進めている様子が伺えました。</li> </ul>
教育課程・学習	5	教員は、豊かな心を育む授業の充実を図っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ローテーションは実施していくべき。(管理職の特別講義も入れたほうが良いのではないか)特別講師などを呼ぶことがあっても良いのではないかな。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業だけではなく、生徒が人権について考える企画がふえるような機会をさらに増やしてほしい。道徳の授業の担当を持ち回りにしていることはとても評価できる。さらにすすめてほしい。</li> <li>・生徒が多くの教職員の薫陶を受け、人間性の向上につながるよう努めている。</li> <li>・重点項目である道徳の授業について説明にありますように、様々な先生の授業を受けられた方がよいと思います。保護者にもいじめ防止の取組について発信した方がよいと思います。</li> </ul>

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
	6	児童生徒は、落ち着いた態度で生活し、授業に取り組んでいる。 (市共通項目)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較的挨拶はできている印象だが、自分たちから自発的に挨拶を行う生徒は少ない。年度当初の生活のきまりを話すときに、ある程度の挨拶の仕方を教えるべき。</li> <li>・提出物がどんなもので、いつまでなのかをまとめて確認できる掲示板のようなものがあると良い。</li> <li>・4人班にしたことによる具体的な成果を知りたい。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内で出会う生徒たちの半数くらいは積極的に挨拶をしてくれて気持ちがいい。声を出さない時期が長がかったので、ようやく戻ってきた感がある。提出物忘れ、忘れ物は、基本的には本人の問題ではあるが、締め切りを守らせる工夫をさらに進めていってほしい。できて当たり前の生徒ばかりではない。</li> <li>・学校全体に秩序があり、授業態度も落ち着きを感じられる。</li> <li>・訪問した時は挨拶をしてくださる生徒さんがおり、行事にもクラスで団結して、協力して取り組まれることが感じられました。</li> <li>・学校見学の際にあいさつを自発的にする生徒が多い印象。</li> </ul>
資質の向上	7	学校は、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事根絶のため積極的に取り組んでいる。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校は風通しのよい職場の雰囲気がある。 → 風通しのよい職場の評価が向上した。</li> <li>・倫理確立等定期的に行われている。 → 職員会議や部会等で定期的に倫理確立の話ができている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価が全体に高く、学校全体で事故防止に努めている姿勢が感じられる。</li> <li>・研修やOJTが適切に行われている。風通しの良い職場づくりに努めている。</li> <li>・引き続き取り組みをお願いします。</li> </ul>
	8	本校の教員は、児童生徒一人一人を認め大切に接している。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個に応じた支援をさらにすすめる。</li> <li>・多国籍化にとまどない、翻訳機能機器を導入してもらい、言葉の壁のない授業や個別指導をすすめる。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・威圧的な態度の指導がかなり減ってきていると感じられる。より多くの生徒にとって相談できる先生が見つかるようになっていくことを期待する。</li> <li>・個々の生徒にしっかり向き合い、寄り添っている。</li> <li>・教員と生徒の距離が近く一人一人に接している様子も感じています。</li> </ul>
学習環境	9	学校は、特別支援教育体制の充実を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内研修で、特別支援教育、特に「就学相談の流れ」について全員で共有する。</li> <li>・グレーゾーンの生徒への持続可能な対応を学ぶ。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育について研修する機会を定期的に設けてほしい。発達障害の傾向がある生徒はどのクラスにも一定数いると思われる。周囲の理解と適切な対応で、学校への不応を減らすことができると考える。</li> <li>・学校全体で体制が整い、各先生方の理解のもと、個々の生徒に向き合っている。</li> <li>・特別支援学級との交流を通じて、多様性を感じていけるようになると思います。</li> </ul>
	10	学校は、安心安全で機能的な教育環境整備に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下等の掲示物は作成年度を記入し、3年経過したら剥がす。色褪せたり、破れていたりするものは修繕不可能であれば3年を待たずに剥がしても良い。</li> <li>・備品の整理、廃棄は年度末に各担当が責任をもって行い、必要なものがあれば購入を検討する。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にAB通路の校内の掲示物は、生徒の作品等は入れ替えてあり、とても興味深く拝見している。</li> <li>・若干、老朽化が見られるが、概ね管理や清掃が行き届いている。美化にも意を用いている。</li> <li>・安全安心な教育環境は大切だと思います。日々の点検をよろしくお願いします。</li> </ul>

領域	NO	評価項目	自己評価	自己評価についての評価の説明及び学校の考え	学校関係者評価	学校関係者評価委員会の説明
家庭・地域との連携	11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。 (市共通項目)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページを定期的に更新している。 → 昨年の10月より坂戸中HPが新しくなりました。ホームページを定期的に更新できている。</li> <li>・防犯等の情報を家庭に提供している。 → 防犯についてもマメールで保護者に連絡を行えている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページや坂中だよりなどを通じて情報提供に努めている。PTAや関係者などとも連携が図られている。</li> </ul>
	12	学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用し、家庭・地域と連携し子どもの問題解決を図っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校生徒支援の手だての一つとして、次の地域人材を活用する。 図書ボランティア、部活動外部指導者、民生児童委員、ソーシャルスクールワーカー 特別支援学校</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつ地域が学校に関わる機会が戻ってきていると感じられる。単発的ではない関わりをもてるといい。運営協議会委員が面接練習に立ち会うことで生徒たちは緊張が増した状態で面接練習をすることができていると聞いている。私も生徒の思いを直接聞くことができる貴重な機会です、より学校が身近に感じられる。</li> <li>・地域人材との関係に十分留意している。PTAや関係者などとも連携が図られている。</li> <li>・防災・防犯からも地域の方との教育活動・協働をお願い致します。</li> <li>・自己評価通りだが、地域の人材活用はもっと積極的にすべきだと思う。これは先生方の負担減による働き方改革にもつながる部分。</li> </ul>
小中一貫教育	13	学校は、小中一貫教育の視点にたった教育活動を推進している。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携に関して、全教員が小学校の見学に参加すべき。また、小・中を通しての「指導の柱」があると良い。例えば、挨拶・給食準備。</li> <li>・部活動の土曜公開など、入学前の見学会を学校として用意した方が良い。1年生の退部・転部を減らす意味でも、入学前に部活動を見学できる機会を増やせると良い。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数年ぶりに坂戸小児童が合唱祭を見学できて、中学校生活を想像させるととてもいい機会になっている。小中共通の取組は進めていってほしい。</li> <li>・進学前の部活動の公開は、検討実施してほしい。部活全加入が前提でなくなって、入らない選択をする生徒が増えている一方、いまだに内申書のために継続だけを求める保護者が一定数いる。部活動については実際に見て検討する機会が増えることはとてもよい。</li> <li>・小中連携のために必要な情報交換や意思疎通は図られている。合唱祭において招待されたり、交流が進むことが大変良いと思います。引き続きよろしくご協力致します。</li> </ul>